

# ブドウの高接ぎによる品種更新の早期化

～緑枝接ぎのポイントと注意点～

村瀬 亘（知多農林水産事務所農業改良普及課）

【令和2年3月25日掲載】

## 【要約】（200字程度）

苗木で改植を行う場合、成木になるまでの期間は収穫量が減少してしまう。そこで、知多地域の農家は、効率的に品種の更新を行うことができる高接ぎを実施している。

接ぎ木の方法は「穂木―更新枝」が①当年枝（以下、緑枝）―緑枝、②前年枝―緑枝で行い、活着率90%以上で更新している。

接ぎ木の活着率を向上させるポイントは、切り戻した際に強い枝が発生する樹勢がある樹を選ぶこと、かん水により樹体に水分が十分含まれている状態にすること、穂木の先端にも接ぎ木テープを巻き乾燥を防止することなどである。

## 1 はじめに（目的）

近年、皮ごと食べられるブドウや種なしブドウが消費者に好まれるようになり、こうした需要に対応した品種への切り替えを検討するブドウ農家も多い。しかし、苗木で改植を行う場合には、成木になるまで少なくとも5年以上はかかり、その間は減収となってしまうため、品種の更新がなかなか進まないのが現状である。

そこで今回、植え替えによる更新よりも短期間で品種の更新を行うことができる高接ぎを実践している農家の事例と高接ぎの方法を紹介する。

## 2 高接ぎ実践農家の事例

今回紹介する農家は、5年前から高接ぎに取り組み、需要が減ってきた品種から「シャインマスカット」や「クイーンニーナ」、「ピオーネ」などの品種に更新している。

平成30年4月には、無加温ハウス内の更新樹3樹の合計8か所に「シャインマスカット」を接ぎ、翌年には約10マス分（1マス2.5m×2.5m、1マスにつき結果母子1本）の結果母枝を確保することができている（図1）。また、接ぎ木した翌年の房は果粒肥大が劣ることが多いが、活着・生育・登熟の条件が揃えば、翌年から販売できる果実が収穫できている（図2）。この農家の実践事例から、高接ぎのポイント整理した。



図1 高接ぎで更新された部分



図2 高接ぎ翌年の結実状況

### 3 高接ぎの方法

高接ぎは主に2つの方法（「穂木—更新枝」が①当年枝（以下、緑枝）—緑枝、②前年枝—緑枝）で次のように実施する。

- ・接ぎ木は更新樹の新梢が展葉6～8枚程度の頃に行う（図3）。
- ・樹形を考慮し、発生した新梢から適当な場所のものを選び更新枝とする。
- ・接ぐ位置は、活着しなかった場合を考え緑枝の芽を1芽は残し、2～3節目に接ぐ（図4）。一般的な割り接ぎの方法で接ぎ、接ぎ木テープで芽を覆わないように巻く。
- ・活着すると接ぎ木後、2週間程度で芽が動いてくる（図5、6）が、活着しなかった場合は穂木がしおれて枯れる。

以上の方法で、農家は、9割以上の活着率で更新を行っている。また、①、②の方法では穂木が緑枝でも前年枝でも活着率は変わらないため、穂木の確保のしやすさで接ぎ木方法を選択する。なお、接ぎ木処理の時期は繁忙期にかかってしまうため、農家は、比較的労力に余裕のある萌芽期前に（前年枝—前年枝接ぎ）にも挑戦したが、十分な活着率が得られず、実用には至らなかった。



図3 接ぎ木適期の新梢



図4 更新枝の切り方



図5 接ぎ木2週間後  
(緑枝)



図6 接ぎ木2週間後  
(前年枝)

### 4 接ぎ木のポイントまとめ

#### (1) 活着率の向上について

- ・高接ぎ樹は、切り戻した際に強い枝が発生する樹勢の樹を選ぶ。
- ・土壌が乾燥気味の場合は前日にかん水し、樹体に水分が十分含まれている状態にする。
- ・接ぎ木テープは接ぎ木部だけではなく、乾燥防止のため穂木の先端にもしっかりと巻く。
- ・緑枝を調製する際は、接ぎ木ナイフよりもカッターナイフやカミソリなど刃の厚みが薄く切れ味が良いものを選ぶ。

#### (2) 活着後の生育について

- ・接ぎ木部分の生育を妨げる枝（競合枝、かぶさり枝など）は剪除する。
- ・更新枝から発生する副梢や陰芽をこまめに欠く（図7）。

#### (3) その他

- ・接ぎ木部位は将来の樹形を見越して決める（1主枝7.5m程度のWH型平行整枝であれば最短2年後には成木並の収量が期待できる）（図8）。

- ・前年枝接ぎの場合は、少し芽が動いてもその後枯れる場合がある。



図7 更新枝の副梢（青い丸）  
の欠き忘れで新梢伸長不足



図8 WH型平行整枝を意識した接ぎ木部位

## 5 接ぎ木を実施する際の注意点

- ・登録品種を高接ぎする場合、他の農家が栽培する樹から穂木を採取し利用することは種苗法上禁止されている。自家増殖は認められているため、栽培者自身が既に購入した苗木等から採取した穂木を用いる。
- ・接ぎ木中に刃物で怪我をする人が多いので穂木や更新枝の調製時には十分注意する。
- ・高接ぎ樹は経済寿命が短いと言われているため、同時に苗木による計画的な更新を行う。
- ・ウイルスを持った穂木や更新樹を利用すると感染を広げてしまうため、健全な穂木・更新樹を選ぶ。